

■第1回長浜市未来創造会議において、総合戦略の「基本的方向」に対し”追加で取り組むべきもの”として意見いただいた一覧とその対応

No.	意見	対応する施策の附番
1	転入“数”という数よりも“質”の議論がこれからは重要だと考えている。「所得の向上」を考える必要がある。	1-1,2,3,4,5
2	“転職無し”で移住者を呼び込むという取組を進めてはどうか。都市部の高額所得者にもすぐ繋がり、雇用の場が長浜になくとも成立するため、理想的である。	1-2
3	フルリモートを推進している会社、企業側にアプローチしてはどうか。自治体と連携しているところも実際に存在している。	1-2
4	東京でテレワーク移住支援金というものがある。長浜もそういうことをやってみるとアピールポイントになる。	1-2
5	“個人の状況に応じた”働き方を実現するには企業と仕事を探している人を結ぶ人、繋ぐ場所が必要である。	1-3
6	妊活中の方や、不登校の子がいる方、介護している人などの活躍も促進すべきでは。	1-3
7	企業も人材確保ができず困っている。人材確保の仕組みづくりが必要ではないか。	1-3
8	行政には、金銭的な部分ではなく、優秀な人材確保に繋がる支援や政策を進めていただけるとありがたいと感じる。	1-3
9	農業について、イベント的に収穫体験などを実施すれば、若い人や子どもは自然体験をするために来てくれると思う。	2-1
10	アートレジデンス。外で活動しているアーティストの方に、地域に住んで地域の方と交流しながら作品を作ってください。そして、試演会をする支援を行い、その反応をみて、都会や海外に持っていき評価につなげるといったことができないか。豊岡市で事例がある。	2-1、3-5
11	地域おこし協力隊や、民間企業、国の人材派遣制度を活用するなど、報償を与えられる制度や仕組みをつくって人材を誘致できたらいいのでは。	2-2
12	地域に人を増やすために、地域おこし協力隊の人と積極的にコミュニケーションをとって、地域に残ってもらうように促す取組が必要。	2-2
13	長浜を知る事、まちづくりをすることにつながる研修やボランティアなどをするとポイントが貯まり、長浜で使える割引券がもらえる仕掛けなどを作り、少しずつ当事者を増やしていく取組をしてはどうか。	2-2
14	現役世代、子育て世代に移住していただかなければならないと思う。有名なところで明石市のように子育て支援を充実させたり、多賀町のように若い世代への助成金や固定資産税の免除を検討するなど、近場の人が長浜を選ぶきっかけづくりは必要かもしれない。	3-1
15	地域を知ることによって地域に残ってくれるようになるのではないかと。そういう機会や機会を得やすい環境を作ることが必要。	3-4
16	中学校や高校の学生が自分のことだけ考えて学生時代を過ごすことももちろんいいことだが、市政の場に呼んでもらうことや定期的な会議に呼んでもらう。	3-5
17	若者の価値観による新しい文化をつくる取組が必要。	3-5
18	長浜市は安い価格で使える公共施設が多く存在しているため、これを上手く活用して、外のアーティストがこの地域に住んで作品を生み出すような交流ができないか。	4-3
19	親子で山村留学をやっている地域が増えてきた。長浜市でも高時地区などの受け入れ体制のある地域が結構存在すると思うので、そういうことをすれば地域も喜ぶのではないかと。	4-3
20	親世代と一緒に生活していくことができれば空き家問題などいろいろなことが解決できるように思う。	4-3
21	住宅の改装費用の補助を出すなどすれば、新しく家を建てるだけでなく、古い家を改装することも選択肢になる。	4-3
22	市民意識調査では子育てに関する分野でデジタル技術の活用を望む声が多い、子育て世代の転入数増加のためにデジタル技術の活用が必要。	デジタル
23	「多様な人が多様な活躍ができる」ことを支援するのがデジタルや行政の施策の役割であるように感じる。	デジタル